

「美容機器を購入・導入するなら、トータルコンサルティング付きのJBマシナリーから！」という絶対的信頼を市場に周知させたい

茂藤 雅彦

株式会社クールプロジェクト（JB マシナリー事業部）代表取締役社長

Masahiko Moto

略歴◎大学(薬学部)卒業後、医療機器販売会社、外資系大手保険会社(ファイナンシャルプランナー)の勤務を経て、2002年にエステサロン経営会社(㈱クールプロジェクト設立。現在、エステティック事業部においてクールエステティック、クールグランボディ、クールフェイシャルボーテ、クールアライラッシュの4ブランド計9店を石川県、富山県、福井県にて展開中。2010年ドクターズブランド純国産美容機器メーカー「J.B.MACHINERIE。」を設立し、現在JBマシナリー事業部として国内外に幅広く事業を展開している。

『Dr.Caviet® Ghost』 (ドクター・キャビエット® ゴースト)



ホームケア痩身器「ドクター・キャビエット・ゴースト」がバージョンUP!

サロン専売品として、累積販売数1万8,000台を記録する『ドクター・キャビエット・ゴースト』。発表は4月予定、詳細は現段階では未公開。今後もサロン経営をする美容機器メーカーとしての本物価値を追求した商品づくりが存分に生かされた製品。単なる製品の価値だけでなく、当社の質の高いカウンセリング、付加価値のあるノウハウ、実践型の販促ツールなども提供していく。

社長から営業担当まで、エステ関係の業界人が集まる勉強会を開催

JBマシンナリー事業部は、メーカーとの機器販売、ディーラーとしてさまざまなもの取り扱い、経営に関する相談を請負します。その3つの橋渡しになつて、2年前から私が始めた勉強会プロジェクトです。

「」一様など 多くの人々が全国から集ま
やいます。勉強会では、エステティックサロン
運営に関する実用的なあらゆるノウハウを取
り上げています。私たちがこの業界に参入し
た14年前当時、メーカー・ディーラーは、顧
客サロンに對して美容機器や化粧品等の商材
を「売り放し」にしてしまった傾向がありました。
した。売る側は製品でどうやって売上をつく
るのかを知っている、これが常識だと思つてい
たので、愕然としたのを覚えています。そこ
で、自らの過去の経験を生かし、さまざまな
カリキュラムを組み立て、クールエステティック
グループ内で研修をはじめました。この研修

部門にて3年連続「特別推薦サロン」に選出された直営のサロンの経営ノウハウをはじめ脱毛、痩身、フェイシャル、物販に至るまで余すところなく網羅し、オリジナルで自社製品を作っています。また、「売上が上がらない」とスタッフが定着しない、顧客満足度が上がらない、社員教育の方法がわからないなどの悩みも数多く寄せられ、全国から足を運んでくださいます。最近では、「他社の製品を導入しているが、勉強会に参加したい」というお声も聞かれるほど、クチコミでの広がりを実感しています。

新たにオープンし、今年もクールフエイシャルボーテーを
ボーテ2店、クールグランボディ1店をオープ
ンする予定です。さらに多くの悩みをかかえ
たサロンの救世主となるよう、全社をあげ
て取り組んでまいります。



販売とコンサルでサロン経営
支える新しいカタチを
いち早く実現

を受けた社員の成長を感じてくださった外部の方々からリクエストがあり、勉強会として立ち上がったという経緯があります。

研修やセミナーに参加された皆様は、売上アップ、顧客満足度アップ等、喜びや感謝のお声を多数いたしております。学びが奏功し、ビジネス面だけでなく、ご自身の理念改善に繋がっているように感じます。今後は東京、金沢のみならず、大阪地区においてもエステ経営総合セミナーを新たに予定していく

が明確になったサロン様のなかで希望があれば、グループ内のコンサルティング事業部につないでいます。直営サロンの運営を通して得たりアルなノウハウを核にオリジナルの情報やメソッドを提供し、日々実績を積み重ねています。

今後も、JBマシナリー事業部のハード面と、コンサルティング事業部のソフト面の2面コラボで、顧客満足度の高いサロンに成長させるためのアドバイスを万全の体制でバックアップしていくます。競合他社との差異化を図るべく、美容機器の購入、導入をするなら、トレーナー専門店コンサルティング付きのJBマシナリー事業部から!』という絶対的信頼(JBバリュー)を全国のマーケットに徹底周知させていただきたいと考えています。

また、今年は直営サロン「クールエステティック®」も事業拡大する予定です。昨年2月にボディ専門店クールグランボディ®、6月にフエイシャル専門店クールフェイシャルボーテ®を新たにオープンし、今年もクールフェイシャルボーテ2店、クールグランボディ1店をオープンする予定です。さらに多くの悩みをかかえたサロンの救世主となれるよう、全社をあげて取り組んでまいります。